

第4号様式

立地計画説明会開催結果報告書

平成24年9月28日

山梨県知事 横内 正明 殿

住 所 千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1  
名 称 イオンモール株式会社  
代表取締役 岡崎 双一  
担当者名 関東・北海道開発部 小林 央  
連絡先 043-212-6344

大規模集客施設等の立地に関する方針（第3章2（3）③）により、次のとおり届け出ます。

1 大規模集客施設等の名称

イオンモール甲府昭和

2 大規模集客施設等の立地場所

山梨県中巨摩郡昭和町常永土地地区画整理地内1街区

3 説明会の開催周知

(1) 周知した日 平成24年9月12日（水）

(2) 周知した方法 山梨日日新聞に掲載

4 説明会開催結果の概要

(1) 開催日時 平成24年9月20日（木）午後7時～午後8時30分

(2) 開催場所 イオンモール甲府昭和 3階イオンホール

(3) 説明者 イオンモール株式会社 上春、岩村、井上、小林、  
八木総合企画 八木

(4) 出席者数 90名

(5) 説明の概要 別紙「大規模集客施設等の立地に関する方針」に基づく「立地計画説明会」資料により説明

(6) 出席者からの意見・質問の要旨及び設置者の回答内容

- ・質問 少子高齢化及び人口減少に伴い、既存のインフラを有効活用するコンパクトシティという街づくりの観点から、増床計画は新たなインフラ整備が必要となり、非効率であると考えている。
- ・回答 当立地は既に市街化編入されており、新たな道路や造成等は必要としない。市街化編入され、用途は商業地域の土地有効利用であり、コンパクトシティの考え方と一致する。
- ・質問 海外に学校を立てる協力をしたり、様々な募金をしたりしているようですが、地元商店街の活性化に貢献して頂きたい。
- ・回答 地域貢献については、様々に対応してきたが、至らぬ点もあったと思われる。甲府商工会議所様等を通し、これからも積極的に貢献させて頂く。
- ・質問 開店前、店舗面積は2万8千㎡にすることで山梨県と合意していたはずである。なぜ、この時期に増床するのか、またできるのか。
- ・回答 2007年に県から交通問題の指摘があり、店舗面積を2万8千㎡することで合意した。開店前、開店後に交通量調査を実施し、周辺の道路は区画整理組合、及び山梨県による道路整備のおかげもあり、開店前と比較しても、それ程交通量が増加していないことを確認した。開店前にご指摘された交通問題は回避できると判断し、増床の協議を申し入れさせて頂いた。
- ・質問 増床する以上目的があるはずなので、もう少し具体的に説明して頂きたい。
- ・回答 モノ消費からコト消費へということをコンセプトとしており、コト消費ができる、私どものコンセプトに合うテナントさまの誘致を考えていますが、現在のところ増床をお願いしている段階であり、具体的には決まっておりません。立地に関する説明会は、今決まっている範囲について出来る限り早く皆さまにご説明させていただくことが趣旨であると考えております。
- ・質問 店舗等の延床面積が41,000㎡とあり、店舗20,000㎡・非物販面積は4,000㎡とあった。残りの17,000㎡は何か。
- ・回答 今後当社として強化していくものとして、ホビーカルチャー、スポーツ等、また物を売っているところがカルチャースクール等を行うことも考えております。店舗面積20,000㎡・非物販面積4,000㎡、合計24,000㎡にて届出しておりますが、今後の検討により、店舗部分が17,000㎡・非物販が7,000㎡になるということもあるかもしれませんが、現段階では決定しておりません。現段階では届出どおりとなります。  
残りの17,000㎡は供用通路と非常階段、倉庫等の後方施設となる。
- ・質問 商圏の拡大はどのように考えているのか。
- ・回答 現状商圏は甲府盆地を中心に一部長野県、静岡となっている、増床後多少拡大するが、それほど大きくなるとは考えておりません。  
既存店の例からいくと、店舗が1.5倍になったら商圏が1.5倍になるのではなく、現在来て頂いているお客さまの来店回数が増えるまたは買い物の幅

が広がるということになります。

- ・ 質問 イオンモール甲府昭和店は年寄りには通う手段がない、また増床により中心市街地の商店街が疲弊すれば買い物ができなくなる。
- ・ 回答 中心市街地とは異なり、日常性の高いものというより趣味やファッション性の高いものを取り扱いに重点をおき、また中心市街地の商店街さまと競い合うのではなく、県内初のブランド等を誘致し、県外に流出する消費を阻止し県経済を活性化させたい。
- ・ 質問 中心市街地と異なるものに取扱いの重点をおくから、市街地に影響はないというが、そんなことはなく、市街地に大きな影響を与えると考える。
- ・ 回答 私どもとしては、取扱い商品の違いから市街地へ大きな影響を与えないと考えておりますが、ご意見はご意見として県に報告させていただきます。
- ・ 質問 地元企業が入店できるよう配慮すべきだ。
- ・ 回答 開店前、テナント募集説明会を甲府市内で実施し、募集要項を甲府市商工会議所様、各商工会さまへ提供し、申し込みのあった企業さまとヒアリングをさせて頂いた。私どものコンセプトに合致し、賛同して頂ける企業さまのお申し込みをお待ちしている。
- ・ 質問 現在、交通問題は発生していないというが、増床後の交通問題はどうか。
- ・ 回答 開店前、開店後を合わせて計 4 回の交通量調査を行った。増床後も交通処理が可能であると確認し、増床を判断した。
- ・ ご意見 子供が二人いるが一人は自転車で、一人はバスでイオンモールに行っている。子供からは買い物等に非常に便利な施設が出来たとよく聞いている。このように、若い世代が週末を楽しんでいるのを見たり聞いたりしていると、若い世代に夢を与えてくれていると感じる。
- ・ 質問 甲府昭和とネーミングした経緯を教えてください。
- ・ 回答 付近に中央高速道路 甲府昭和 IC があり、遠方からのお客さまに分かりやすくするため、甲府昭和とした。
- ・ 質問 増床する店舗面積 20,000 m<sup>2</sup>は大店立地法の小売店舗面積であると判断して良いか？
- ・ 回答 現時点ではそうである。但し、今後のテナント構成により店舗面積が非物販面積となる可能性はある。